

令和5年度

研究の全体構想

学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成

目指す子ども像

- 一人一人が自分の力を発揮して輝く子ども
- 互いのよさを認め合い、思いやりのある子ども
- 主体的に行動し、共に高め合える子ども

研究主題

読み方を身に付け、自分の考えを表現し、学び合うことを楽しむ子どもの育成
～問いを見付け、対話で考えを深める授業づくりを目指して～

仮説

言葉の力や表現する力を高める手立てをとり、課題解決を組み入れた単元構成を工夫することで、自分の考えを豊かな言葉で表現し、言葉を大事にして主体的に学び合う子どもが育つのではないかと。

児童の実態

- 学習活動に友達と共に楽しんで取り組んでいる。
- 友だちの考えのよさを認めることができる。
- △自ら課題を見付け、粘り強く最後まで取り組む力が弱い。
- △語彙が少なく、自分の思いを豊かに表現することが苦手な子どもが多い。
- △文章を読み取る力が弱く、言葉にこだわって分かるまで話し合う子が少ない。

国語科で目指す子ども像

- 自ら課題を見付け、主体的に粘り強く学ぼうとする子ども
- 自分の思いや考えをもち、豊かに表現する子ども
- 言葉にこだわり、対話を通して自分の考えを広げたり深めたりする子ども

課題解決型の単元構想の工夫

- | | |
|------------------------------|----------------|
| ①指導要領解説の資質・能力と教材の魅力・表現のすりあわせ | ②働かせる見方・考え方の吟味 |
| ③問いを引き出すしかけの工夫 | ④読みの手法の明確化 |

学びを支える共通実践(重点◎)

- 互いを認め合い伝え合える学級づくり
- はりのある返事
- 元気なあいさつ
- ◎語彙を増やす時間・話合いの力を高める時間
- ◎国語授業の用語の定着
- 読書の推進
- ◎言葉の宝箱の掲示と活用
- ◎UDを意識した授業作り(視覚化)
- 道徳授業の充実
- 学習の約束の徹底
- あいうえお反応・つなげる言葉等話形の提示・活用